

民泊・地域イベント等予約システム構築業務仕様書

1. 業務概要

本業務は、鳥取県智頭町における民泊事業および地域イベントに関する予約を、国内外からウェブ上で受け付けるための２種類の予約システムをそれぞれ構築することを目的とする。宿泊予約システムとイベント等予約システムは別個のシステムとして構築し、それぞれ独立して運用可能な構成とする。両システムは共通の運用事務局が管理し、地域全体での情報発信力・利便性の向上を図る。

本業務の実施にあたり、提案事業者は「提案書」および「見積書」を提出するものとする。なお見積書については、以下の２区分に分けて提出することとする。

- ① 今年度（令和７年度３月まで）に係る構築及びそれに関連する費用
- ② 来年度以降に係るシステム運用・保守費用（R8～R12 の５年間）

なお、提案書には、開発方針、スケジュール、体制、運用支援の内容を明記すること。

第１部 宿泊予約システム

1.1 システム概要

智頭町内の民泊施設を対象に、宿泊予約をウェブ上で受け付け、管理者および利用者双方が利便性高く利用できるシステムを構築する。

また、現在の民泊事業が抱える運営上の課題（例：予約管理の煩雑さ、IT 活用の不足、事務局窓口の分散など）を踏まえ、それらを解決するための最適なシステムを提案・構築することとする。

さらに、構築した予約システムが単なるシステム構築で終わらず、民泊事業において実際に有効活用され、運用が定着するよう、導入後のフォローや運用支援までを業務範囲とする。

1.2 開発目的

智頭町の民泊事業における宿泊予約のオンライン化を進め、観光客（特にインバウンド利用者）の利便性を高めるとともに、地域の観光産業の活性化を図ることを目的とする。海外からの利用を想定した多言語対応やオンライン決済の整備により、智頭町における宿泊受け入れ体制を国際的な水準へ引き上げる。

1.3 システム要件

項目	内容
対象施設	智頭町内の民泊施設
対応言語	日本語・英語（将来的に他言語対応を想定）
予約機能	宿泊日、人数、部屋数などを指定して予約可能
決済機能	クレジットカード、PayPal 等の国内外決済手段に対応
通知機能	予約確定・キャンセル等の通知
管理画面	施設管理者が予約状況や顧客情報を確認・修正できる
セキュリティ	SSL 通信対応、個人情報保護法および GDPR 準拠
汎用性	民泊以外の宿泊事業者にも提供可能なモジュール構成とする

1.4 構築工程

- 1) 現状分析・課題抽出
- 2) 要件定義
- 3) 基本設計・詳細設計
- 4) 開発（フロントエンド・バックエンド）
- 5) テスト（単体・結合・受入）
- 6) 導入支援・運用研修
- 7) 保守・運用フォロー

第 2 部 地域イベント等予約システム

2.1 システム概要

観光協会、商工会、民間企業などが主催する地域イベント等を対象に、イベント登録・参加者募集・予約受付を行うことができるシステムを構築する。本システムは、イベントごとに主催者権限を付与し、事務局が全体管理を行う。

2.2 構築目的

地域イベント等の予約受付をオンライン化し、観光客および地域住民の利便性を高めるとともに、地域の活動や商業イベントの活性化を図ることを目的とする。また、地域のイベント等の情報が集約化されることで、智頭町内のイベント等の情報を網羅した情報提供サイトの構築へと繋げ、町全体の魅力発信力を強化する。

2.3 システム要件

項目	内容
対象団体	智頭町内の観光協会、商工会、民間企業、地域団体など
対応言語	日本語・英語（将来的に他言語対応を想定）
イベント登録機能	町内の各主催者がイベント等の情報を登録・公開可能
予約機能	利用者が参加申し込み・予約を行える
定員管理	イベントごとに定員数・残枠数を管理可能
主催者権限	主催者には自身が登録したイベントのみ管理できる限定権限を付与
事務局管理機能	町全体のイベント登録・運営状況を事務局がモニタリング可能
セキュリティ	SSL 通信、個人情報保護法・GDPR 準拠、アクセス権限設計
汎用性	他地域のイベント団体にも展開可能なモジュール構成とする

2.4 構築工程

- 1) 現状分析・課題抽出
- 2) 要件定義
- 3) 基本設計・詳細設計
- 4) 開発（主催者・利用者・事務局モジュール）
- 5) テスト（単体・結合・受入）

- 6) 導入支援・運用研修
- 7) 保守・運用フォロー

第 3 部 共通事項

3.1 構築スケジュール

- ・現状分析・要件定義：2025 年 12 月
- ・設計／開発：2025 年 12 月～2026 年 2 月
- ・テスト・導入支援：2026 年 3 月
- ・運用開始：2026 年 4 月 1 日

3.2 納品物

- ・宿泊予約システム一式
- ・地域イベント等予約システム一式
- ・各管理マニュアルおよび操作説明書
- ・課題分析・改善提案書
- ・テスト報告書
- ・導入研修資料および運用マニュアル

3.3 保守・運用

両システム稼働後、障害対応・バックアップ・セキュリティ更新などの保守業務を実施する。また、事務局を中心に運用支援や定期的な改善提案を行い、システムの継続的な有効活用を支援する。

3.4 業務の上限額

本業務の構築にかかる委託料上限額は、5, 0 0 0, 0 0 0 円（税込）とする。

（両システムの合計上限額）

※ 令和 8 年度以降、本システム構築後に発生する運用・保守費用等については含まない。ただし、別途見積りを行うこと。（R8～R12 の 5 年間）

3.5 備考

本仕様書は、智頭町の民泊事業および地域イベント等の運営における予約システム構築の基本方針を定めたものであり、詳細な仕様や費用については別途協議の上で確定する。

提出書類

- ・ 提案書（最大両面刷り 10 枚まで）
- ・ 見積書（本システムの構築に必要な経費及び次年度以降に必要な運用・保守等経費）

※ 参加申込者には、別途現地（智頭町地内）にてプレゼンテーションの機会を設けます。（日程等については参加申込者に別途お知らせします。）